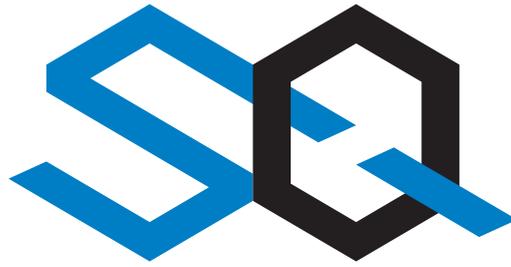




アメリカ：ニューヨーク アメリカの国家規格は ANSI (American National Standards Institute)。アメリカは、ANSI では原則として規格作成は行わず、専門団体もしくは関連委員会等を通じ ANSI 規格として承認されるのが特徴。



標準化と品質管理
STANDARDIZATION AND QUALITY CONTROL

since 1946

Vol. 74

2023.12

冬号

CONTENTS

特集 1 AI——文化、法制度、標準化

特集 1

- | | | |
|----|---|-------|
| 02 | 〈特集 1〉企画のねらい | 編集部 |
| 03 | AI 時代に求められる日本の「間」 | 武邑 光裕 |
| 10 | 米欧中の AI 法制度に向けた動き
—よくある誤解に惑わされず、あるべき道筋を進むために | 三部 裕幸 |
| 16 | AI 標準化最新動向 | 杉村 領一 |
| 20 | 自治体における生成型 AI 利用の加速とガバナンスの課題 | 坂下 哲也 |
| 24 | 新時代の規格開発 —SMART 規格と AI | 小林 直哉 |

特集 2 脱炭素——最新潮流を聞く

特集 2

- | | | |
|----|--|------------|
| 30 | 〈特集 2〉企画のねらい | 編集部 |
| 31 | 都市の指標、音楽、標準化、脱炭素
—Spatial Pleasure の取組み | 鈴木 綜真 |
| 40 | 「ISO 14068-1:2023 カーボンニュートラリティ」
の概要 | 稲葉 敦 |
| 46 | 英国規格協会が主導するネットゼロイニシアティブ、
Our 2050 World | エミリー・フェイント |
| 54 | 研究論文 標準と法律 | カリー・コリアネーゼ |
| 60 | 「スマートな悪」に抵抗する規格の可能性 | 戸谷 洋志 |
| 62 | 標準化に係る経営課題：標準化活動調査(2020)の
結果概要 | 田村 傑 |

標準

- 69 JIS の国際統合化と国際貿易の円滑化 井尻 直彦
- 74 大学における標準化教育拡大の壁を破るために 江藤 学
- 79 JIS 作成の加速化へ
—認定産業標準作成機関（認定機関）の認定範囲拡大について— 宮下 愛菜
- 81 化学物質管理者の設置義務について
—自律的な管理— 日本規格協会グループ
化学物質管理推進室
- 87 人的資本管理から考える重量物取り扱い
—今後新規制定予定の JIS Z 8505-1— 榎原 毅
- 91 [🔗 リレー連載 🔗](#) 企業の標準化最前線
中期経営計画における経営基盤強化の柱としての
国際標準化・規制対応力の強化 小西 善之
- 98 新時代の規格開発 —SMART 規格動向— 小林 直哉

- 118 国際標準化特別講演会開催レポート
—IEC 事務総長 講演会— 編集部
- 125 ASTM Vice President Cendrowska Teresa J. 氏
インタビュー 編集部
- 131 2023 年 ISO 総会概要 中川 梓
- 136 日本規格協会標準化貢献賞表彰式開催 編集部
- 140 標準化と品質管理全国大会 2023 開催 編集部

- 142 問題解決と新学習指導要領 鈴木 和幸
- 145 新時代における品質経営モデル（JIS Q 9005:2023）
の提唱 —顧客及び社会への価値提供を通じた持続的成功への道— 金子 雅明
- 152 メッシュ統計とその応用に関する国際標準化活動への
取り組み 佐藤 彰洋
- 158 ISO/TC 69（統計的方法の適用）ミルウォーキー総会報告 ISO/TC 69 国内委員会

- 166 [📖 書き下ろし連載小説 📖](#)
QC1 級おじさん、縄文時代に転移する 四葉 タト

- 168 JSA グループってこんなところですよ！「QC 検定受けてみた」
編集後記 —東西南北—

